

# 研究協力のお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

## 寛骨臼同種骨移植術後のCT値変化に基づく術式間比較

### — Impacton Bone Grafting 法と塊状骨移植法 —

#### 1. 研究の対象および研究対象期間

2016年から2022年まで、昭和医科大学藤が丘病院整形外科において人工股関節全置換術に加え寛骨臼骨移植術を併用して行った患者さん。

#### 2. 研究目的・方法

股関節の臼蓋が欠損している方に対して、骨移植術を併用した人工股関節全置換術を行うことが望ましいとされています。現在当科では骨欠損のレベルに応じて主に2種類の術式を選択して行っていますがその術後成績を示すことで将来的な治療成績の向上に役立てることを目的としています。診療録に記載された年齢や性別、手術内容、X線・CT画像、リハビリテーション内容などの臨床情報を用いて、患者さんに直接負担をかけることなく後方視的にデータ解析を行います。対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、個人を特定する情報は削除し、符号化したデータを使用します。

#### 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2029年12月31日まで

#### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から以下の情報を取得します。患者背景（性別、年齢、診断名、入院日、転入日、転棟日、退院日、在棟期間、入院期間、転帰、入院時入院形態、身長体重 性別 原疾患 既往症）術前術後画像所見（両股関節 X-P CT MRI）術前術後臨床 Score (JOA JHEQ) 手術法、術後経過診療録記録、インプラント情報を調査項目とします。

#### 5. 外部への試料・情報の提供

「該当いたしません」

#### 6. 研究組織

研究責任者 昭和大学藤が丘病院 整形外科 氏名 可知 格  
研究分担者 昭和医科大学藤が丘病院 整形外科 石川 翼

昭和医科大学藤が丘病院 整形外科 葛島 大知  
昭和医科大学藤が丘病院 整形外科 加賀谷 聰志  
昭和医科大学江東豊洲病院 整形外科 田邊 智絵

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられるについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 :

所属 : 昭和大学藤が丘病院 氏名 : 可知 格  
住所 : 横浜市青葉区藤が丘 1-30 電話番号 : 045-971-1151